

2023年度 日本工学院専門学校											
マンガ・アニメーション科											
素描演習 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	45	単位	1
担当教員	伊 東 明 日 香			実務 経験	有	職種	画家				
担当教員紹介											
画家。東京芸術大学大学院油画技法・材料研究室卒。 横浜美術学院にて小学生、中学生、高校生、大学生など幅広い年齢層への指導経験を活かし、本校でもデッサン講師として勤務。											
授業概要											
基礎的なデッサン力の習得。											
到達目標											
1 年次に培った物を観察して描いていく基本的なデッサン力を更に深め、クリエイターとして求められる発想とアイデアという観点で応用力を身に付ける。											
授業方法											
人物・静物・風景のモチーフを中心に初歩的でシンプルな課題から制作し、徐々にモチーフの難易度を上げて行く。 1回(3時間)で終わるモチーフも有れば2回続けて(6時間)制作するモチーフも有る。 導入では全体に向けて解説をし、制作中は個人指導を主体とする。 作品ごとに最後は講評会を全体で行うか、成績採点後の返却時に個別に指導をする。											
成績評価方法											
課題 平常点	90% 10%	課題毎に提出、採点 授業の受講態度									
履修上の注意											
授業中の私語や受講態度には厳しく対応する。 理由のない遅刻・欠席は認めない。 授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を取得できない。											
教科書教材											
毎回授業ごとに対面でレクチャー、資料、動画、配布物はClassroomにて配信											
回数	授業計画										
第1回	自己紹介 球体/オンデマンド 球体を通して立体物の基本的な見方を養う。										
第2回	球体講評 剥製/対面 鳥の骨格、筋肉をよく観察し構造を意識しながら進める。										
第3回	剥製/対面 羽毛の柔らかさ、くちばしや脚の硬質な質感など意識しながら描き込む										
第4回	剥製/対面 羽毛の柔らかさ、くちばしや脚の硬質な質感など意識しながら描き込む										
第5回	剥製講評 静物①ブロック＋ボール /対面 複数のモチーフによる構図、形の把握										

2023年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科	
素描演習 3	
第6回	静物①ブロック+ボール 動画/対面 陰影、質感を意識しながら完成させる。
第7回	静物①ブロック+ボール ブロック講評/対面 陰影、質感を意識しながら完成させる。
第8回	靴/対面 靴特有の機能美としての形の観察と構図を探る。
第9回	靴/対面 靴の構造、質感を意識しながら完成度を高める。
第10回	靴/対面 対面 靴の構造、質感を意識しながら完成度を高める。
第11回	靴 講評 静物② シンプル/対面 今一度基本に戻り基礎形態を含むモチーフに挑む。
第12回	静物②/対面 複数モチーフによる空間や構図など気を付けながら進めていく。
第13回	静物② 制作&講評 /対面 モチーフそれぞれの構造、質感に注意しながら完成を目指す。
第14回	果物+コップ/対面 構図、形の把握
第15回	果物+コップ/対面 陰影、質感を意識しながら完成させる